



2023年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年9月12日

上場会社名 株式会社 オービス

上場取引所 東

コード番号 7827 URL <https://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 2023年9月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	9,094	5.6	543	9.8	551	12.5	620	44.6
2022年10月期第3四半期	8,615	21.6	602	240.7	630	221.9	429	533.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	353.26	
2022年10月期第3四半期	245.40	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第3四半期	12,809	4,901	38.3	2,785.96
2022年10月期	12,996	4,322	33.3	2,466.63

(参考)自己資本 2023年10月期第3四半期 4,901百万円 2022年10月期 4,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		40.00	40.00
2023年10月期		0.00			
2023年10月期(予想)				63.00	63.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年10月期の業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,512	1.5	636	17.4	638	19.4	744	37.5	423.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期3Q	1,760,787 株	2022年10月期	1,753,818 株
期末自己株式数	2023年10月期3Q	1,301 株	2022年10月期	1,262 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期3Q	1,756,226 株	2022年10月期3Q	1,748,614 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年11月1日～2023年7月31日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が第2類から第5類へ引き下げられる等、各種規制の緩和により、消費活動は個人消費やインバウンド需要を中心に回復の動きがみられました。一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化による原材料・エネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレの進行抑制に対する欧米諸国での政策金利の引き上げなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社は当期より五ヵ年の中期経営計画「NEXT STEP 10」を公表し、選択と集中による経営資源の有効活用と成長市場への取り組みを一層強化し、最重点施策である「ハウス・エコ事業におけるMグレード認定工場の取得」を念頭に、木材事業福山工場の生産効率改善のための設備投資を実施するなど、中期経営計画の達成に向けた新たなスタートを踏み出しました。

その結果、売上高は90億94百万円(前年同四半期比105.6%)、営業利益は5億43百万円(前年同四半期比90.2%)、経常利益は5億51百万円(前年同四半期比87.5%)、四半期純利益は特別利益として賃貸用不動産等の売却に係る固定資産売却益2億76百万円の計上により6億20百万円(前年同四半期比144.6%)となりました。

これにより、純資産は前事業年度末の43億22百万円から49億1百万円となり、自己資本比率は33.3%から38.3%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

(木材事業)

ウッドショックによる世界的な木材供給不足は終息を迎え、その反動から国内市場は荷動きの低下によって在庫が増加し、一部において在庫調整の動きがみられるなど、業界全体が活況を呈していた前事業年度から一転して厳しい状況に陥りました。

原材料につきましては、ウッドショックの終息もあり、前事業年度まで急騰していた丸太価格(国産スギ及びニュージーランド松)は一転して弱含み基調で推移いたしました。一方、中国経済の減速を受け輸出が低迷したことから、梱包用材等の荷動きも力強さに欠ける展開が続きました。

このような環境のもと、取引先との関係強化に積極的に取り組み、競合樹種であるチリ産製材品の安価販売の影響を最小限に抑えるべく新規・休眠顧客の掘り起こしや新たな販路の開拓によって受注量を確保するとともに、販売価格の維持に努めるなど、攻守のバランスを意識した慎重かつ迅速な事業運営を行ってまいりました。また、製材ラインの渋滞を解消する設備投資を実施いたしました。各工程の生産量と作業量の差が小さくなり、工程間の連結がスムーズになるなど、生産効率の改善が進み、今後収益への寄与が期待されることとなりました。

その結果、売上高は57億50百万円(前年同四半期比94.6%)、営業利益は4億19百万円(前年同四半期比95.3%)となりました。

(ハウス・エコ事業)

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間の建設投資につきましても徐々に持ち直しの動きが見られるものの、慢性的な人手不足や資材価格の高騰に伴う建設コストの上昇等により、依然として厳しい事業環境で推移いたしました。

このような環境のもと、受注の確保を最優先課題として掲げ、既存顧客との関係を強化し、提案力・品質等も含めた総合的な競争力の向上に取り組んでまいりました。しかしながら、一部の案件においては鋼材などの資材価格の高騰が建設コストの増加を招き採算面を押し下げたことから、売上高は大幅に伸長したものの、収益性に課題を残す結果となりました。

その結果、売上高は26億68百万円(前年同四半期比147.7%)、営業利益は1億5百万円(前年同四半期比141.3%)となりました。

(太陽光発電売電事業)

現在3県17ヶ所、総発電容量は約13MWの太陽光発電所を運営しておりますが、全ての発電所において自社の技術者による発電所運営管理業務を行うなど、安定稼働の維持に引き続き努めてまいりました。

売電量につきましては、一部の地域において出力制御の影響を受けました。

その結果、売上高は3億24百万円（前年同四半期比90.5%）、営業利益は1億96百万円（前年同四半期比91.1%）となりました。

(ライフクリエイト事業)

ゴルフ場部門におきましては、単月ベースで開場以来最高の来場者数を記録する月次もありましたが、夏季は猛暑に長雨と非常に厳しい気象環境の影響が大きく、来場者数は伸び悩みました。一方、経年劣化による周辺設備の修繕を計画的に実施するなど、引き続きコース管理の徹底による品質維持・サービスの向上に努めてまいりました。

フィットネス部門におきましては、SNSでの告知強化に加え、朝6時からの早朝営業の開始や様々な限定イベントを実施するなど、新規会員の獲得に努めてまいりました。しかしながら、会員数の減少に一定の歯止めがかかったものの、未だ厳しい状況が続いております。

その結果、売上高は3億5百万円（前年同四半期比99.2%）、営業利益は19百万円（前年同四半期比52.7%）となりました。

(不動産事業)

賃貸マンションの定期的な保守メンテナンスを引き続き行うことで、入居率及び定着率の向上を図ってまいりました。

なお、所有する賃貸マンション4棟のうち、2022年12月と2023年4月にそれぞれ1棟ずつ合計2棟を売却いたしました。

その結果、売上高は46百万円（前年同四半期比72.3%）、営業利益は30百万円（前年同四半期比75.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して1億86百万円減少し128億9百万円となりました。その主な要因は電子記録債権が1億73百万円、完成工事未収入金及び契約資産が1億47百万円、リース未収入金が4億59百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1億1百万円、受取手形及び売掛金が3億36百万円、建物及び構築物が1億11百万円、機械装置及び運搬具が2億82百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して7億65百万円減少し79億7百万円となりました。その主な要因は短期借入金が1億50百万円、未払法人税等が1億5百万円、長期借入金が3億円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して5億78百万円増加し49億1百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が5億50百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、2023年3月14日に公表の業績予想及び配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2023年10月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,070	695,866
受取手形及び売掛金	1,772,152	1,435,625
電子記録債権	233,363	406,429
完成工事未収入金及び契約資産	157,989	305,045
リース未収入金	1,869,110	2,328,429
商品及び製品	136,597	150,579
仕掛品	84,646	990
未成工事支出金	92,581	99,217
原材料及び貯蔵品	487,093	487,836
その他	297,239	292,914
貸倒引当金	△1,947	△1,932
流動資産合計	5,925,899	6,201,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,382,921	1,271,274
機械装置及び運搬具(純額)	2,175,554	1,893,402
土地	3,061,501	2,982,797
その他(純額)	278,647	235,853
有形固定資産合計	6,898,624	6,383,329
無形固定資産	17,315	13,391
投資その他の資産		
投資有価証券	91,707	124,462
その他	66,783	90,857
貸倒引当金	△4,006	△3,351
投資その他の資産合計	154,483	211,968
固定資産合計	7,070,423	6,608,689
資産合計	12,996,323	12,809,691

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829,820	773,148
工事未払金	226,597	208,043
短期借入金	550,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,125,926	1,112,285
未払法人税等	234,903	129,734
賞与引当金	86,475	43,039
完成工事補償引当金	44	67
その他	784,943	748,216
流動負債合計	3,838,710	3,414,533
固定負債		
長期借入金	4,450,060	4,149,541
退職給付引当金	134,284	133,559
資産除去債務	8,025	8,072
その他	242,336	202,132
固定負債合計	4,834,705	4,493,306
負債合計	8,673,415	7,907,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	695,594	699,615
資本剰余金	523,594	527,615
利益剰余金	3,084,753	3,635,050
自己株式	△1,182	△1,232
株主資本合計	4,302,760	4,861,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,305	40,691
繰延ヘッジ損益	△158	110
評価・換算差額等合計	20,146	40,802
純資産合計	4,322,907	4,901,852
負債純資産合計	12,996,323	12,809,691

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年11月1日 至2022年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年11月1日 至2023年7月31日)
売上高	8,615,864	9,094,974
売上原価	7,018,020	7,482,235
売上総利益	1,597,843	1,612,738
販売費及び一般管理費	995,483	1,069,177
営業利益	602,360	543,561
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	2,152	2,829
仕入割引	1,696	833
受取賃貸料	3,600	3,600
補助金収入	38,857	23,417
その他	31,997	6,023
営業外収益合計	78,305	36,705
営業外費用		
支払利息	33,581	28,120
その他	17,038	814
営業外費用合計	50,620	28,935
経常利益	630,045	551,332
特別利益		
固定資産売却益	—	276,746
特別利益合計	—	276,746
特別損失		
減損損失	—	72
特別損失合計	—	72
税引前四半期純利益	630,045	828,006
法人税、住民税及び事業税	167,485	241,985
法人税等調整額	33,446	△34,378
法人税等合計	200,931	207,606
四半期純利益	429,114	620,399

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	6,078,192	1,806,763	358,487	308,309	64,111	8,615,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,078,192	1,806,763	358,487	308,309	64,111	8,615,864
セグメント利益	440,319	74,484	215,608	36,258	40,622	807,293

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	807,293
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△204,933
四半期損益計算書の営業利益	602,360

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	5,750,017	2,668,126	324,560	305,939	46,331	9,094,974
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,750,017	2,668,126	324,560	305,939	46,331	9,094,974
セグメント利益	419,429	105,274	196,383	19,090	30,782	770,960

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	770,960
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△227,398
四半期損益計算書の営業利益	543,561

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	木材事業	ハウス・ エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	不動産事業	計		
減損損失	—	—	—	—	72	72	—	72